



○「感動ある体験」と「コミュニケーション」を大切にして、子どものやる気（挑戦意欲）を育てます。
 ○コミュニティ・スクールとして、「信頼される学校」「地域とともにある学校」を目指し、これまでの学校の特色や地域資源を生かしながら、「学力の向上」「豊かな心の育成」「健康・体力の向上」に取り組み、問題解決力の基礎を養います。

学校経営の中期的な目標と方策

☆学力の向上

- 学力・学習状況調査の結果等を踏まえ組織的、計画的に取り組む。
- 授業規律を確立し、学習の構えをもたせる。
- ICTや具体物などで、学習意欲を高めるとともに、問題解決的な学習を展開するなかで、児童が考え、表現する場面を大切にする。
- 読書や話し合い活動をはじめ、全教科で、言語活動の充実を図る。
- 基礎的・基本的な内容の定着を図る（繰り返し学習、反復練習）
- 高学年は、教科担任制により専門性の高い指導を実現するとともに、多面的に見ることで、児童一人一人のよさを見付け、伸ばす。

☆豊かな心の育成

- 道徳の授業を要として、学校教育全体を通して人権教育を進める。
- 生活指導部を中心に、全教職員で指導する体制を基盤とし、相手の人権を傷つける行為（いじめ・暴力）は、絶対に許さない学校風土を確立する。
- いじめが疑われるときは、「校内いじめ対策委員会」を開催し、学校組織として対応する。
- 不登校や登校渋りの児童には、温かい学級づくりに努めるとともに担任と保護者が連携し、必要に応じて別室対応も検討する。
- 保護者や地域、関係機関と連携し、児童の健全育成を図る。

☆健康・体力の向上

- 体力の向上を図る。
体力テスト結果の分析
体育朝会の充実
- 体育授業の研究
運動量の確保（ボルダリング）
- 健康教育を推進する。
家庭との連携、食育の推進

☆教職員の研修体制

- 互いに授業を見合い、学び合うことができる体制を作る。
- 児童の「学び合い」を目的とした研究授業を行い、授業力の向上を推進する。
- 校外の研究・研修会に積極的に参加する。研修後は、学校全体に報告し還元する。
- 自主的な研修会を開催し、お互いの指導力を高める。
- 管理職が主催する服務研修を定期的実施し、児童はもとより、教職員の安全・安心を守る。

☆外部との連携を強化する →コミュニティ・スクールへ（令和6年度～）

- 学校運営協議会を設置し、委員を確定する。（年度内）
- 学校運営委員より、積極的に意見を聴取し、速やかに改善する。
- PTA各委員会の担当教職員を決め、保護者と積極的に協働する。
- PTA行事、地域行事への参画を児童に促すとともに、教職員も積極的に参加する。
- 保護者からの評価結果を全教職員に示し、課題点について共有する。
- 評価結果を誰が、いつまでに、何を、どのように改善をしていくかなどを具体的に提案し、実効性のある取組を行う。

☆安心できる学校…①人的・物的に清潔で明るい施設環境を整備する。②体育時や教員退勤後は教室を施錠し、外部からの侵入者を防ぐ。③火災や地震、不審者の侵入、救急対応など、緊急時等にすばやく組織で動く訓練を行い、日常から危機管理意識をもつ。④校内の危険物（毒物劇物・刃物類等）の管理を適正に行う。⑤情報管理を確実にし、個人情報保護を徹底する。⑥予算の執行状況を常に確認する。